

富士山の恵み、そのまま身体に（富士宮市）

R8.5.14訪問



お名前	耕縁 橋本 耕佑さん
就農した時期	2023年4月（就農3年目）
栽培品目	米、ミニトマト、じゃがいも、なす等年間約50品目
栽培面積	米40a、露地野菜100a(自然栽培)
販路 働き手	直売所、外食店、個人宅配 本人

■ 就農したきっかけ

コロナ禍を契機に、輸入停止時における食料供給への危機意識が高まり、会社員時代に通勤途中で見かけていた有機農家を訪問したことをきっかけに、農業に関心を持ち直感を信じて転身を決意しました。

■ 活用した支援策等

新規就農者育成総合対策（経営開始資金）

■ 栽培方法

農薬や肥料を使わず、草や微生物の働きを活かした土づくりを基本とし、必要以上に草刈りをしないことで土壌の生態系の維持に配慮しています。

■ 生産、経営、販路等に関する課題

自然栽培の手法を維持しつつ、土づくりや栽培管理の工夫、品種選定や作期の調整等により、安定した収量の確保、生産性の向上を図っていくことが課題です。

■ 新規就農を目指す人に伝えたいこと

農業は研修で学び、技術と人脈を身に付けると良いと思います。人のつながりや販路の紹介等得られるものが多いです。

